

## 学科試験問題（2015年6月～2015年8月開催審査会場）

### I. 初段

- (1) 「打突部位」を書きなさい。
- (2) 「基本の大切さ」について述べなさい。
- (3) 「素振りの種類」を4つ書きなさい。
- (4) 「しかけていく技の種類」を3つ以上書きなさい。
- (5) 「気剣体一致」について説明しなさい。

### 2. 二・三段

- (1) 「有功打突の条件」について説明しなさい。
- (2) 「切り返しの目的」を述べなさい。
- (3) 「正しい鑄ぜり合いと注意点」を説明しなさい。
- (4) 「出ばな技」について説明し、主な技を書きなさい。
- (5) 「掛り稽古で元立ちが気をつけること」を述べなさい。

### 3. 四・五段

- (1) 「指導者としての心構え」について述べなさい。
- (2) 「下位者と稽古をするときの留意点」について述べなさい。
- (3) 「体当たり」について説明し、「指導上の留意点」を述べなさい。
- (4) 「間合」について説明しなさい。
- (5) 「引き立て稽古」について説明し、「元立ちが留意すべきこと」を述べなさい。

剣道学科試験問題（2015年6月～2015年8月開催試験会場）

【 回 答 例 】

初段

- (1) 「打突部位」を書きなさい。
  - ① 面部は正面および左右面
  - ② 小手部は右小手および左小手
  - ③ 胴部は右胴および左胴
  - ④ 突きは突き垂
  
- (2) 「基本の大切さ」について述べなさい。

剣道でも上達するためには基本が大切である。  
基本をしっかり身に着けると、技術に無駄がなくなり、効率的（少ない労力で多くの効果が上がる）で正確な技術が身につくようになる。
  
- (3) 「素振りの種類」を4つ書きなさい。
  - ① 上下振り
  - ② 斜め振り
  - ③ 空間打突
  - ④ 跳躍素振り
  
- (4) 「しかけていく技の種類」を3つ以上書きなさい。
  - ① 一本打ちの技
  - ② 払い技
  - ③ 二・三段の技
  - ④ 出ばな技
  - ⑤ 引き技
  
- (5) 「気剣体一致」について説明しなさい。

気とは気力、剣とは竹刀操作、体とは体さばきと体勢のことである。  
これらが打突時に、一体となって働くことで有効打突になる。

## 剣道学科試験問題（2015年6月～2015年8月開催試験会場）

二段・三段

### 【 回 答 例 】

- (1) 「有効打突の条件」について説明しなさい。  
有効打突とは、充実した氣勢、適正な姿勢をもって、竹刀の打突部で打突部位を刃筋正しく打突し、残心あるものをいう。
- (2) 「切り返しの目的」を述べなさい。  
切り返しは、正面打ちと連続左右面を組み合わせ、基本動作を総合的に練習するためのものである。  
切り返しのなかで、姿勢と構え、打ちの刃筋や手の内の作用、足さばき、間合いのとり方、呼吸法、さらに強靱な体力や旺盛な氣力を養い、氣劍体一致の打突の修練を目的とする。
- (3) 「正しい鍔ぜり合いと注意点」を説明しなさい。  
自分の竹刀を少し右斜めにして手元をさげ、下腹に力を入れて自分の体の中心を確実に保つようにする。  
注意点 ①手元をさげ、下腹に力を入れて腰を十分伸ばす。  
②首をまっすぐに保ち、体が前傾しないようにする。  
③お互いの鍔と鍔が競り合うようにする。  
④相手の肩に竹刀をかけたりにしない。  
⑤積極的に技を出すか、分かれるようにする。
- (4) 「出ばな技」について説明し、主な技を書きなさい。  
相手が攻め込もうとしたり、打突しようとする動作の起こりのはなを打突する技である。  
主な技 ①出ばな面  
②出ばな小手  
③出ばな突き
- (5) 「掛かり稽古で元立ちが気をつけること」を述べなさい。  
①間合いや打突の機会に注意する。  
②常に合気となり、掛かる者の氣力が萎えたような時は発奮させる。  
③掛かる者が居ついたり、氣劍体一致の打突がみられなくなったら、間合いに配慮し、いなしたり、応じたり、出ばなを打つなどの工夫をする。